

令和4年8月1日

独立行政法人 家畜改良センター宮崎牧場

## 放牧及び飼料生産技術研修会の開催について

家畜改良センター宮崎牧場は、畜産農家に対する放牧の普及推進と夏作飼料作物栽培に関する知見の一助とするため「放牧及び飼料生産技術研修会」を開催します。

第1部では、近年注目されている ICT を活用した放牧技術に関する講演や高張力線牧柵設置実習を行います。第2部では、飼料生産技術に着目し、放牧地で活用できる簡易更新機の実演や夏作飼料作物について紹介します。

参加及び取材をご希望の方は、別紙開催要領をご確認のうえ、問い合わせ先までご連絡ください。

【参考 [http://www.nlbc.go.jp/news/R4hoboku-siryoseisangi\\_jyutukensyukai\\_miyazaki.pdf](http://www.nlbc.go.jp/news/R4hoboku-siryoseisangi_jyutukensyukai_miyazaki.pdf)】

### 記

1. 日時 令和4年8月31日（水）9：30～16：00
2. 場所 独立行政法人 家畜改良センター宮崎牧場
3. 研修会プログラム ※どちらか一方のみの参加も可能です  
第1部：放牧技術研修会 9：35～14：00  
第2部：飼料生産技術研修会 14：00～15：45
4. 共催 一般社団法人 日本草地畜産種子協会



宮崎牧場の放牧地



簡易草地更新機

～日本の畜産 改良と技術で育てます～

問い合わせ先

独立行政法人 家畜改良センター宮崎牧場

担当者：業務第二課 川原、小山

電話：0984-23-3500 FAX：0984-23-3500

URL：<http://www.nlbc.go.jp/miyazaki/>

# 令和4年度「放牧及び飼料生産技術研修会」開催要領

令和4年6月22日

独立行政法人 家畜改良センター宮崎牧場

## 1. 開催の目的

放牧は省力化や飼料コストの低減ばかりでなく、燃料や電力等のエネルギーの節減からも非常に有用な取り組みですが、一方で、放牧牛の管理や牧柵の設置・維持管理、放牧地の裸地化など、実施にあたって解決すべき課題も多いのが実情です。近年はこれらの課題に対し、ICT技術（Information and Communication Technology:情報通信技術）の活用により解決を図ろうとする取り組みがみられます。

また、肉用牛に適した飼料作物の作付体系として、冬作イタリアンライグラスと夏作の二毛作体系を行う場合の夏作の草種・品種については、台風や病害等のリスクを考慮しながら選定を行う必要があるなど、西南暖地における飼料生産に関する課題も多くみられます。

このたび家畜改良センター宮崎牧場では、南九州地域の畜産農家に対する放牧の普及推進と夏作飼料作物の生産に関する知見の一助とするため、ICT技術を活用した先進的な放牧技術に関する講演を行うとともに、高張力線牧柵設置に関する研修、簡易更新機を用いた放牧地追播技術及び夏作飼料作物の比較栽培結果等の紹介等を行う「放牧及び飼料生産技術研修会」を開催することとしました。

2. 日時：令和4年8月31日 9：30～16：00

3. 場所：(独)家畜改良センター宮崎牧場 (宮崎県小林市細野 5157-29)

## 4. 研修会プログラム：

【第1部：放牧技術研修会 9：35～14：00】

- ・ICTを活用した放牧技術  
(講師：熊本県農業研究センター草地畜産研究所 研究主任 吉田大志氏)
- ・宮崎牧場の放牧取り組みの紹介
- ・高張力線牧柵設置に関する現地研修

【第2部：飼料生産技術研修会 14：00～15：45】

- ・簡易更新機を利用した放牧地追播技術の紹介
- ・ソルゴー、スーダングラスを中心とした夏作飼料作物の比較試験栽培結果の紹介
- ・夏作品種テフグラス「ST-1」の実証試験栽培結果の紹介

【情報提供 15：45～15：55】

- ・(一社)日本草地畜産種子協会の飼料増産にかかる取り組みについて

5. 主催：(独)家畜改良センター宮崎牧場 (共催：一般社団法人日本草地畜産種子協会)

6. 参集範囲：南九州の肉用牛生産者、行政関係者、農協等
  
7. 参加希望者への防疫に関するお願い  
家畜改良センター宮崎牧場では、飼養する家畜を家畜伝染病から守るため、厳しい防疫体制をとっております。研修会参加に際しては、下記事項が条件となりますのでご了承ください。
  - (1) 当日に他の畜産施設等（自宅の畜産施設を含む）に立ち入らないこと。
  - (2) 過去1週間以内に海外から入国又は帰国していないこと。
  - (3) 他の畜産関連施設で使用した物品は、原則として持ち込まないこと。
  - (4) 過去4か月以内に海外で使用した衣類及び靴を持ち込まないこと。
  - (5) その他、職員から指示された防疫に関する事項を守ること。
  
8. 参加希望者への新型コロナウイルスの感染防止等に関するお願い
  - (1) マスク着用、手指消毒など、ご自身で感染予防対策をお願いします。
  - (2) 研修会の当日を含む2週間以内に37.5℃以上の発熱又は風邪などの症状のあった方は参加をお断りします。皆様のご理解とご協力をお願いします。
  - (3) 暑い時期の開催となりますので、飲料水の確保等、ご自身でも熱中症予防対策をお願いします。
  
9. 申し込み締め切り 8月19日（金）  
別紙「参加申込書」に記入のうえ、FAXで下記問い合わせ先あてに送信願います。
  
10. 問い合わせ先：家畜改良センター宮崎牧場業務二課  
担当者 川原、小山  
電話 0984-23-3500 FAX 0984-24-0953